

不可複写電子

史料原  
原史本

沖繩

陣

才五

野

戰航空修理廠

才一分廠

中

日

誌

九月

昭和十九年十月一日  
昭和十九年十月三十一日

補給料

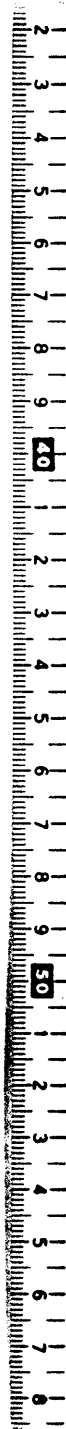
昭十九年

防衛研修所



2720-6

本土周辺 68



白紙和十九年十月一日

至昭和十九年十月三十一日

事務部

# 陣中日誌

(第壹號)

RS 90466  
Cinc. P. Cir. Cpoa  
B- 23 48 &  
OKINAWA 2 July

WBC. #  
15549

分廠

22150

月 日

十月一日

曜 日

日 曜 日

天 候

晴 後 曇

位 置

沖繩縣中頭郡讀谷山村字伊良谷

各 科 業 務

総務一在郷軍人分會設立申請

修理一修理機キ61-1-1-1ノ装置キ61-1尾那修理

キ61-1機効格装着

補給一渡島知港ヨリ分廠燃料運搬

九五揮発油ニ。九五揮発油 九二

二再用部品行送梱乞

修理一全機検査

一 陸軍軍医中尉 大池久男

當分、間中央航空路部沖繩管区、医務系掌へ命久

日々命令

陸 軍

人員異動

本日現員

一解雇

雅之武之負

新里孟德

川崎弟田義長

川

又若傳一

川崎弟田義長

川

新地ト之

川崎弟田義長

川

川崎弟田義長

川崎弟田義長

試之中、廢解雇

(兵站宿舍要員)

職負三元

工負五三三

計五七二

日曜日

十月二日

曜

日曜日

天候

晴

位置

前日=今之

業務概要

一、八四事故発生修理科ヲ之テ援助セシム

二、修務一階號書檢査準備

修理一配電作業

一修理機 \* 六一、四六、五五一各一機臨時修理

二、工作機塔付作業

補給 一、集積現況表、作製

二、飛行第五一戦隊へ落下タンク、運送

本日現員

職負三元

工負五四一

計五八〇

天候  
曜日

十月三日  
水曜日

勤務概要  
位置

前日二合三  
晴

陸軍航空本部巨勢中佐以下二名暗號書検査ノ  
為未敵又

二三角兵舎入合準備中ニテ道路構築各宿舎偽装  
ヲナス

修理一、六六一、六四八臨時修理\*五四尾新修理

補給一、燃料分散ニ、搭体部品整理並ニ解相作業

日々命令

陸軍軍曹 岸田用三

工員 藤本忠義

河川 榮好道

河川 大城久孝

本日現負

不時看極應接、為十月三日ヨリ一週間ノ予定ヲ以テ  
慶良間列島ニ出張ノ命又  
職負三九、工負五四一、計五八〇

月日

月日

曜

水曜 日

天候

晴

位置

前日ノ今三

業務概要

一 航空本部 医務部 長州 備前 泊 車 運 送 等 衛生

状況ノ報告セシム

二 角兵舎 移転準備

三 業務一 業務月報ノ調製

修理 一 六六一リニク装置修理 キ五四一 尾部修理

補給 一 部品 廠内燃料ノ分岐偽装

職負三九 工負五四一 計五八〇

本日現負

月 日

曜

天 候

位 置

業務概要

十月五日

木曜 日

晴 微曇 夜間風強

前日 = 今

一 情勢ノ緊迫ニ伴ヒ家族携行者自宅通勤者ニテ妻  
帯者以外ノ下士官兵男子雇員ニ員三角兵舎ニ移  
転セシム

修理 一 キ八四一キ五四一キ四八一尾羽修理

キ六一一リンノ装置修理

キ五五一發動機装置キ八四一整備及發動機点検

補給 一 材料部品ノ分散 (三角兵舎六號)

二 知元集積所ヨリ廠内へ燃料ノ運搬

九一揮発油七九本

三 親志集積所ヨリ空缶ノ運搬

陸 軍

人員異動  
 一 宣誓 庶務班 筆名 比嘉よし月佐久川ヨシ  
 二 備人 経理班 筆名 比嘉ハル  
 三 備人 雑用班 筆名 島袋文彦  
 四 備人 國吉海幸  
 五 那覇長宗  
 六 比嘉盛男  
 本日現負  
 職員元 工員五四一 計 五八〇

日 十月六日  
 曜 金曜 日  
 天候 晴後曇 逆風  
 前日 二合云  
 七二八  
 業務概要  
 一 午前ヨリ逆風ノ夕ノ飛行格~~機~~機留及防風設備ヲ実施  
 二 修理 キ六一一キ五六一キ四八一修理續行  
 三 キ八四一發動格整備 キ五二一發動格設置  
 四 補給 一材料及部品 分散(三角兵舎六號)  
 五 人員異動  
 一 派遣 雇員 本田東一 小原水遣隊勤務  
 二 入倉 雇員 倉三 日 工員 又吉公 健手名知友  
 三 月 一日 月 嘉数直二  
 四 上官ノ注意ニ拘ラズ身ノ上ノ事ニ扱ハレテ五二尺勤ニ任務スルコトヲ科



本日現負

職負三元

工負五三七

計五七六

月 日

十月七日

曜

土曜日

候

前日ニ合三

命令下達

一情報第一項ニ依リ各科班ヲ命令受領者ヲ集合セシメ

左記命令ヲ下達ス(一六〇)

各科班ノ業務ヲ停止シ主トシテ飛行機燃料ノ分散

各防衛地区ノ防人諸施設ノ整備

二情報ノ緊迫ニ即應スベク工場ノ分散計画立案地ニ

部品器材ノ分散

修理 \*以キ以キ一修理完成

\*以キ以キ一交換 \*以キ以キ一交換整備

本日現負

職負三元

工負五三七

計五七六

情報

一 球券情報  
一、二、三〇 衣連港東方海上に敵有力ナル機動部隊北進  
中ナリ

日

十月八日

曜

日曜日

候

晴

天

前日ニ合シ

業務概要

一、七〇〇ヨリ大砲奉戴式奉行

二、式終了後花火祝訓示ヲナス

三、情勢ノ緊迫ニ伴ヒ防空対策ノ強化促進

三、情報第一項ニ依リ全負ヲ以テ警戒及材料物品積リ機整

ノ分散偽装ヲ促進セシム

各科業務

補給一、材料物品ノ分散

二、空ドラム缶ノ運搬 二九五本

三、知見集積所ヨリ燃料ノ運搬

修理一、キ以一臨時修理履行 キ以一緊急社内物故障取卸

日々命令

一、補給科長ハ旧籠り場ヨリ司令部用兵器一切ヲ明九日迄ニ神鏡

本日現負  
情 報  
人員男勤

管区ニ貸渡スベシ

但修理中ノモノヲ除ク

職負三九、二負五三七 計五七六

一、一五三〇 宮古島警戒警報隊司令

一雇入 補給科 衛生 系 教 輝子

総理科 種三式三負 鏡平名未子

二解雇 総理科 川 大石トシ

飲ニ依ル

日 月 日 十月九日

曜 日 月曜日

天 候 晴

前日ニ合シ

一分廠ハ現在務ヲ続リスルト共ニ防空設備ノ強化ニ邁進

又

修理 キハ一キハ一修理完成

キハ一修理続行

日々命令 一、古賀 尊

業務連絡、為一泊三日ノ予定ヲ以テ慶良間島ニ出張ヲ

命ス

但往復共軍用船ニ依ル

人員男勤 一、飯本(原隊復帰)

第二八艦隊 島崎軍曹以下一六名原隊復帰

本日現負

二解雇

修理科 自動車工 山城善盛

補給科 整備工 仲村英仁

月 筆生 興儀公己

月 整備工 嘉敷拓秀

月 月 根路銘忠裕

入管、為解雇

修理科 整備工 渡嘉敷政雄

病氣、為解雇

職負三元 工負五三六 計 五七五

陸軍

月 日 十月十日

火曜 日

晴

天候 位置

分廠 沖繩縣中野郡波谷山村字伊波皆ヨリ河也東南約二軒、地兵洞

空ニ移轉

五張所、約五軒、真五橋村ニ移轉

小原隊遺隊 附近山中ニ移轉

一。六五ヨリ一五四。ニ互ル間米海軍機、空装ヲ受ク

其ノ詳細別冊戰半詳報寫ノ如之一五。分廠ハ東南約

二軒、地兵ニ移轉

夜間ハ全員ヲ以テ撤背ニ警戒及消火作業物品、撤去

分散及体ノ收容ニ努ム

那覇七張所上書類撤去外全燒人員異状ナシ

派遣 隊上被害状況不明ナリ

戰圖概要

下達命令

人員概要

一、六三〇職員、三角兵舎、集合セシメ、死命令、下達ス  
 一、分廠機能ノ早急ナル恢復  
 二、戦死者ノ收容  
 三、兵器器身材料部品種株等ノ撤去分散  
 四、防空設備ノ強化  
 一、戦死者 工員坂田藤男、松根教夫、岩崎貞喜  
田中康喜、島袋武三、島袋邦子  
 二、負傷者 技師中尉石原令二郎、在員久富印一郎  
工員 豊永盛吉、長友徳一郎  
 時枝 勝田中隆春  
 針親 利井上久幸  
 金城トシ知念竹子  
 青木・真・赤・嶺仁盛  
 三、勲功者ノ事績 警防中隊上原敏男

燃風ナル敵機銃爆害下年衛取締トテ部下ヲ指揮シ克ク  
 任ヲ勇ニ辛先重要書類ノ撤去諸建物ノ消火ニ努メ傷々本  
 邦建物一初焼失彈ノ為炎上セントスルヤ逸早ク之ヲ発見  
 撤去部下ヲ督之テ之ヲ消火ニ當リ遂ニ其炎上ヲ阻止ス  
 警防中 高少平治  
 石警防中取締ト行動ト共ニ身任テ果ス  
 二、員 岩崎貞喜  
 重要書類ノ撤去命セラルレ猛烈ナル銃爆害下他  
 ノ避難スルヲ意ニ外セテ敢然トシテニ就キ身ヲ投テテ重要  
 書類ヲ撤去ニ任務途中遂ニ敵ノ爆害ノ為壯烈ニ戦死ス  
 遂ク  
 三、員 赤嶺仁盛  
 七張所火災ト銃害中重要書類ヲ持去シ古波蔵方  
 面ニ前進中遂ニ爆害ノ為負傷スルモ非常持去シ民家

ノ協カヲ得候ニ類焼ヲ免レ之ヲ防護又其ノ功績顯著ナリ

二員 照一屋 弘

百員傷セル上官ヲ救出シ安全地帯ニ退避セシメ後再ニ爆高下ニ於テ非常持出兵器圖書等ヲ單身撤出セリ其功績顯著ナリ

同 知念豊盛

死傷者ヲ救出重要材料ヲ撤セニ敢然挺身セリ其功績大ナリ

同 石嶺真保

沈着剛愎部品庫ノ消火材料庫ヨリ非常持出ノ撤出ニ挺身功績大ナリ

独逸概要

一、第二八独立整備隊モ月時空襲ヲ受ケ戦斗詳報別

陸軍

本日現  
在者

一、第四五独立整備隊ノ状況不明ナリ

職員 三九 二員 五二 計 五七九

入院 六 入室 二 休業 八 就業 一六

月 日

十月十一日

陸 軍

曜

水曜 日

天 候

晴 天

江 置

前日ニ会シ

緊要事項

各科業務概要

報 告

- 一、分廠主力ハ極力分廠再建ニ爲燒跡資材ノ整理特ニ再用資材ノ回收分敷ニ場建設道路補修等ニ邁進ス
- 二、那霸出張所ヨリ蕪澤少尉連路ニ来リ出張所ノ状況ヲ報告ス書類ノ外損害ナク全員無事ナリ
- 補給 一、概シ書類整理 二、被害状況報告調製 三、燃料器材及塗料ノ分敷
- 醫務 一、空襲被害報告那分医電第ニ辨打電
- 二、一八〇航空本部及大分廠ニ損害詳報(那分電第四六五号)打電ス其ノ要旨左ノ如シ
- 十日、六、五、〇、一、六、〇、間敵艦上機延約一〇機(小中型機)

及後攻書ヲ受ケたノ如キ損害アルモ應急ノ業務ニ支障ナ  
シ全員志氣旺盛ナリ

左記

雇員一

1. 戦死二員四. 重傷海軍技一. 二員二行方不明一三.

2. 建物全部大破云々ノ炎上

3. 工作機~~機~~試験器類ハ悉ク炎上移動修理車及自動

車無事

4. 部品ハ戰鬥機用三組ヲ除キ炎上又材料消耗品概

不無事

上司ノ命令實行遲延之損害ヲ大ナシシタル罪頗ル大ナルシ

自責ス

解雇 修理科 整備二 富朋積一

總務科 運転二 喜屋武盛夫

補給科 牛入二 高間彦厚

人員異動

計 家

上運天繁 瀬高政成 新垣秀三郎

島袋嘉順 前京信忠

入管ノ為

職員三九 工員五三〇(二四) 計五六九

入管ト入望ニ休業ハ就業一六

本日現員  
患有状況



月 日

十月十二日

曜

木曜日

天 候

晴

位 置

前日二合三

業務概要

一 分廠主力ハ極力分廠再建ノ為焼跡資材整理等ニ再用資材ノ回收分散ニ場建設道路補修及西谷子耐以下四ノ名ヲ以テ第九十八戰隊ノ戦半ニ協力ス

下 命

二 球作命甲第五七號ニ依リ一五〇別紙那廠作命第四〇号ヲ下達シ履行初隊ノ整備補給協力ニ遺憾ナキヲ期ス

報 告

三 午後機銃塔本部及大刀廠ニ損害詳報(即分誌電第一号打電莫要旨凡ノ如シ)

那分電第四五五號ノ後判明セシ被害状況

一 人員ノ損傷戦死五ノ重傷五ノ輕傷一七

二 建物三ノ工場四ノ修繕器材五倉庫

陸 軍

各科班業務	燃料脂油ノ処理 ハ小隊水遣隊ニ修整ノ状況 四十日一十六日間合機中航空決戦協力状況別冊戦斗詳報書ノ如ク
人員ノ男勤	後務 一 物品搬入分散
本日ノ現員	修理 一 那廠作命第四号ニ依ル修繕ニ工場構築作業
速者	補給 一 被害報告調製 二 道路復旧之事トシテハ分散
	警務 一 焼畑ノ整理
	経理 一 炊事ノ移転 二 糧秣物品ノ分散
	解雇 後務科 筆生 盛島ツル
	不適當
	職員 三九 工員 五二 計 五六一
	入隊ノ入呈ニ休業ハ就業一六

陸軍

各科班業務	月日 十月十三日
業務概要	全曜日
重要事項	晴曇
各科班業務	前日ニ合シ
	一 池上少尉小隊ヨリ連絡ニ来リテ、セキ小隊ノ被害状況ヲ知ル
	一 砲火ノ破損大破損上ニ破 二 被弾ニ破
	一 天幕一燒失ノ外人負器材具火ナシ
	一 分廠主力ハ分廠再建ノ為燒跡資材整理特ニ再用資材ノ回収
	一 糧秣ノ分散ニ工場建設道路補修九八戦隊ノ戦斗ニ協力ス
	後務 一 書類整理 二 洞窟ノ構築作業
	修理 一 那廠作命第一四號ニ依ル修繕
	一 工場構築 重要器材ノ搬入作業
	補給 一 被害状況報告調製 二 道路復旧之事トシテハ分散
	医務 一 搬入書類整理 二 洞窟ノ補修作業

人員異動

經理 一洞窟構築作業 二物志受領分散  
三加給品ノ配給  
宣誓

試用員 小波藏 宇靜 外四名 宣誓

解雇 醫務班 筆生 金城 成吉

補給科 手入工 比嘉 清雄

修理科 整備之 崎 海秀之

計器之 中村 光廣

入營、夕メ

本日現員

職員 三元 二員 五二二 計 五六一

患者

入營 六 入軍 二 休業 八 就業 一六

月 日

十月十四日

曜 候

土曜 日

晴

前日ニ合ニ

業務概要

本日國運ヲ堵スル大航空決戦台湾ヲシテ企図セラル

一 分廠ノ作命 第一五号ヲ以テ海軍航空部隊整備班地上勤務

ニ協力スルト共ニ分廠ノ再建ニ邁進ス

二 分廠長宿舍及各科班事務室ヲ互敷区分ニ依リ三角兵

舎ニ移転業務開始

分廠長宿舍 第六號宿舍

修繕科 第九號宿舍

修理補給科 第八號宿舍

経理班 医務班 第一〇號宿舍

下達命令

三 球作命 甲第五九號ニ依リ八皇國ハ本明日ニ亘リ台湾ヲ附

各科班業務

近ニ於テ航空決戦ヲ企圖セラル 分廠ハ。〇。〇。別隊作命  
第ニ五号ヲ下達シ主力ヲ以テ海軍航空隊及飛行第九八  
戦隊ノ整備並ニ地上勤務ニ協力ス

総務 一 事務室ノ移転及整理ニ洞窟構築作業

修理 一 四谷少尉以下全カヲ以テ作命第五号ニ基キ協力ス  
ニ分廠工場ノ構築作業

補給 一 概ニ書類整理及報告書調製

二 陵古巻材ノ回收分散及道路復旧工事燃料ノ分散

総理 一 洞窟構築及糧秣ノ分散

医務 一 衛生材料巻材ノ手入補帯材料ノ再生

解雇 補給科 宇生 石川 眞希

中ノノ 島袋 公隆 入管ノ為

職員 三九 二員 五一三 計 五五二

入使 四 入里ニ休業九 就業一七

本日復員  
患者

十月十五日  
日曜日  
晴  
前日ニ合ニ

月 日

十月十五日

曜 日

日曜日

天 候

晴

江 置

前日ニ合ニ

業務概要

一 修理科主力ヲ以テ結束スル飛行部隊戦斗協力ニ万全ヲ期  
スルト共ニ好空防ヲ護シ強化分廠再建ニ邁進ス

下達命令

ニ 皇國ハ依然航空決戦ヲ續行セシレ北飛行場ニ陸海機  
隨時結束ス分廠ハ。一。〇。別隊作命第一六號ヲ下達

シ万全ヲ期スルト共ニ好空防ヲ護シ強化ス

各科班業務

総務 一 分廠復旧作業

修理 一 被害細部調査 二 分廠復旧作業及工場建築

補給 一 被害細部調査 一 残存現品整理道路復旧工事

総理 一 洞窟ノ構築 二 糧秣物品ノ分散

医務 一 分廠業務ノ現在量調査



各科業務	
廠	二復修セシメ復旧作業ニ協力セシム
總務	一 戦斗詳報作製 二 洞窟構築作業
修理	一 被害状況調査 二 分廠復旧作業及構築作業
補給	一 被害調査 二 残存器材、分敷道路復旧之事
経理	一 夏井中尉被弾被害七張 二 洞窟構築物品、分敷
医務	一 被害状況報告作製
解雇	補給科 千入二 号屋春一
職負	三九 工負五一二 計 五五一
入港	四 入里ニ休業九 就業一七
本日現員	
患者	
人員異動	

陸軍

月日	曜日	天候	位置	背筋版
十月十七日	火曜日	曇	前日	
				一 合野中航空隊ニ呼應ニ在支米空軍出動情報アリ最ニ警戒ス
				二 待従式官ハ三ノ北飛行場出奔セラルル御遊事ヲ知ル
				三 分廠ハ午後三時兵舎附近ノ作業ヲ中止ニシテカシラテ
				ノ復旧作業ヲナシ
				ノ身卷材料物品ノ搬上分敷
				ノ道路ノ復旧作業
				三 残量燃料ノ整理分敷
				四 防空塔塔体ノ構築
				五 那分總也第ハ洞ノ入りテ第一四五純立岩嶺ヲ被







本日現負  
人員異動  
忠者

三燒火廠再展運搬作業	經理 一 糧秣分散五三二偽裝不登構築	醫務 一 下川帶長外一首里泡敷三葉物購入為古法	一 転入 大刀廠三、陸軍軍曹 福島 高吉	職負四。	二負 五一二 計 五五二	入定五入望三 休業一三 就業一														
------------	--------------------	-------------------------	----------------------	------	--------------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(九月七日附)

陸軍

月 日  
曜  
天候  
位置  
業務概要

十月二十日	木曜日	晴	前日=今三	一 大刃廠職居及派遣之負取田兵男外二名遺骨還送入	二 大刃廠長一。三。帰廠ナル	三 分廠ハ器材回收分散之場ノ建築防空施設ノ強化ニ努カス	四 第一八独立整備隊有後少尉以下三名被害状況報告及業務連絡ノ為来廠ス	総務 一 書類整理橋体構築	修理 一 工場及洞窟ノ構築	補給 一 燒失器材及諸帳簿ノ整理	総理 一 物品ノ整理及洞窟ノ構築
-------	-----	---	-------	--------------------------	----------------	-----------------------------	------------------------------------	---------------	---------------	------------------	------------------

各科班業務

人員異動

一 医務一 彌塔材料再生

雇員 奥野 茂

二 廠本部附ヲ命ス

(十月十九日附)

陸軍中尉 吉光 煥二

雇員 北原 定實

久富 仰一郎

本 田 東一

廠本部ニ歸還ヲ命ス

職員 四。之員 五。一。計 五。五。二

入使 五。入使ニ休業 一。三。就業 一。一

本日現負  
患者

月 日 十月二十一日

曜 日 土曜 日

晴

前日ニ令三

一六三。球參情第ニ六號

在支米空軍ハ于二日比島機動部隊作戦ニ呼應シ

海及本土保連ヲ企圖シ各基地ニ於テ準備シアルモノ如

シトノ情報ニ接シ

分廠ハ直ニ命令受領者ニ下達各科(班)ヲシテ防空分散

防護ノ方全ヲ期ス

二 航本窓電第ニ九號ニテ隸屬轉移ノ時於ハ二十五日ニ

改メラル

日々命令

一 川崎航空機株式会社天野技士以下九名十月十日ヲ

當分朋経理班ニテ給養ヲ担任スベシ

各科在業務

本日現負  
患者

一 第四五班立整備隊中時軍務以下三名業務援助ノ  
為末殿ス

依而各班班ニテ各層ヲ担任スニシ

終務 一 書類整理 二 自動車檢修構築 (三々完成)

補給 一定数兵器不足調査 二 器材ノ回收

二 洞窟ノ構築

経理 一 特設事項ナシ

医務 一 三用舎舎ノ修葺

人員異動

一 整備ニ 高野林之助 小隊派遣隊勤務

二 自動車ニ 尾室政雄外三名

小隊派遣隊ヨリ分隊復帰

職負 三五 二負 五一 計 五四七

入院 五 入室 二 休業 一 三 就業 一

陸軍

十月二十一日

日曜日

曇

前日ニ合シ

業務概要

一 分隊長空輸業務打合せヲ為テ三三二軍司令部ニ出張

即日帰隊ス

二 捷三號方面航空戦力(部隊及補給等)ニ協力ニ場

建築並ニ防空設備ノ強化ニ努ム

一 皇國ハ捷三十一号方面ニ航空戦力(部隊補給等)ニ

集中ヲ企圖セラル

分隊ハ〇七〇作命第一九號ヲ下達シ西谷支隊以下飛行

班整備班ノ有カナル人員番付ヲ以テ之等部隊ノ整備補

給ニ協力セシム

総務 一 書類整理 二 自動車檢修構築作業

各科在業務

命令下達

曜  
日  
候

修理  
 補給 一 器材回収 二 定数兵器不足調査  
 三 書類格納用洞窟作製  
 経理 一 相倉構築物品分散  
 医務 一 下川曹長萬物購入為那爾七張  
 職員 三五 二員五一 計 五四七  
 入院 五 入室 二 休業 一四 就業 一七  
 本日現負 患者

陸軍

十月二十三日  
 月曜日  
 晴  
 前日 二 今 三  
 一 燃料及器材塔載船入港為補給科二員三三名ヲ  
 那爾七張所ニ派遣應接セシム  
 二 分隊主力ノ工場再建ノ事ハ進捗ニ本日マテ終結セシム  
 四 掃電精工場一棟 鍛冶工場一棟 板成ノ  
 院務 書類整理 自動車檢修機務作業  
 補給 一 那爾七張所ヨリ燃料一五〇本運搬  
 医務 一 報告書類ノ提出  
 補給科二員 三五 三名 那爾七張所派遣  
 職員 三五 二員 五一 計 五四七  
 入院 三 入室 二 休業 一五 就業 一四  
 本日現負 患者  
 人員異動  
 各科業務  
 概要

情報

一 球務情報要旨(二一〇〇)  
 在支米空軍ハ出動セル確報ナキモ昨二十日以來前曲  
 地区及軍務行機ノ機動多キ情況ニ鑑ミ警戒ヲ嚴シク  
 シタル要アリ  
 二 二十日不明機一機高度七〇〇北飛行場思込敵軍  
 汎島上空ヲ偵察ノ疑アリ嚴ニ警戒ヲ要ス

陸 軍

日

十月二十四日

曜

火曜日

候

晴

位

前日ニ合シ

業務概要

- 一 要塞建築第ハ中隊ノ協力ノ下修理工主カヲ以テ分散工場ノ建築及一部ヲ以テ通過戦隊ノ協力対空防護ノ強化ニ努ム
  - 二 出張所ヨリ疎濶少尉器材運搬ノ為末敵船回入港ニ対スル打合セヲナス
  - 三 二〇〇〇名員ヲ集合セシメ人員点検後陸務科長ヨリテ上記事項ヲ注意セシム
- 左 記
- 一 戦局ノ推移ト皇國現下ノ態勢
  - 二 分隊ノ再建工事ノ促進
  - 三 作業軍役ノ確立

各科業務

口積極的再建意欲、昇揚  
ハ現有資材、最大限活用、上資材回收

總務一書類整理ニ自動車檢修機架

補給一知衣庫積貯燃料運搬四二本

経理一航本より前年度資金十月分要領

ニ給料及俸給ノ支拂

医務一海軍救傷隊長藥物購入ノ為國頭方面出張

一第一四五独逸格付軍曹以下四名宿隊復帰

一解雇 整備二 比表安致外一入管、多ノ

三休務 甲入二 嘉敷喜三 沼集、多ノ

職負三五 二負五二 計 五四七

入度五 入望二 休業一五 就業二四

本日、現負  
患者

人員異動

各科業務	口積極的再建意欲、昇揚 ハ現有資材、最大限活用、上資材回收
總務	書類整理ニ自動車檢修機架
補給	知衣庫積貯燃料運搬四二本
経理	航本より前年度資金十月分要領 ニ給料及俸給ノ支拂
医務	海軍救傷隊長藥物購入ノ為國頭方面出張
第一四五	独逸格付軍曹以下四名宿隊復帰
解雇	整備二 比表安致外一入管、多ノ
休務	甲入二 嘉敷喜三 沼集、多ノ
職負	三五 二負五二 計 五四七
入度	五 入望二 休業一五 就業二四

月 日

十月二十五日

曜

水曜 日

天候

晴曇 夕方小雨

業務概要

一前日ニ今ニ

一 分廠ハ本日ヲ以テ大カ汽航修種廠長兼下ノ段ニ第五野戦

航修種廠長兼下ニ入リメラル

二 臨時補修隊ニ業務連絡ノ為第五野戦航修種廠長由中尉

二七三。末廠ノ

三 分廠ハ依然分廠ニ場建築対応防護器材回收ニ努力ス

総務一書類整理 二 祠堂及自動車用機架構築

修理一工場構築及分廠建築物取壊作業

補給一燒火器材ノ整理

経理一給料及俸給ノ支拂

医務一定期報告書類ノ提出

各務業務

月 日	十月二十五日
曜	水曜 日
天候	晴曇 夕方小雨
業務概要	一前日ニ今ニ 一 分廠ハ本日ヲ以テ大カ汽航修種廠長兼下ノ段ニ第五野戦 航修種廠長兼下ニ入リメラル 二 臨時補修隊ニ業務連絡ノ為第五野戦航修種廠長由中尉 二七三。末廠ノ 三 分廠ハ依然分廠ニ場建築対応防護器材回收ニ努力ス 総務一書類整理 二 祠堂及自動車用機架構築 修理一工場構築及分廠建築物取壊作業 補給一燒火器材ノ整理 経理一給料及俸給ノ支拂 医務一定期報告書類ノ提出
各科業務	口積極的再建意欲、昇揚 ハ現有資材、最大限活用、上資材回收 總務一書類整理ニ自動車檢修機架 補給一知衣庫積貯燃料運搬四二本 経理一航本より前年度資金十月分要領 ニ給料及俸給ノ支拂 医務一海軍救傷隊長藥物購入ノ為國頭方面出張 一第一四五独逸格付軍曹以下四名宿隊復帰 一解雇 整備二 比表安致外一入管、多ノ 三休務 甲入二 嘉敷喜三 沼集、多ノ 職負三五 二負五二 計 五四七 入度五 入望二 休業一五 就業二四

本日須負  
忠者  
情報

職負 三五 二頁五二。計 五四五  
入陵五 入皇二 林業一六 就業 三二  
一 在支米空軍ハ齊州島ニ未裝メ我ガ所在ハ航空部隊ハ  
之ヲ遠隔中。九三。西部管区ニ空襲警報奉令  
二 一四三。南西諸島令也。警戒警報解除

日

十月二十六日

曜

木曜 日

候

曇 時々雨

位

前日ニ令三

報

一 第五野戦航空修理廠濱田中尉一四。帰廠ニ際三分廠

戦力報告ヲ撰定ス

業務概要

一 分廠ハ依然分散工場ノ建築対空防護ノ強化ニ努力ス

二 情報第一第二項ニ依リ遠隔ノ多ク飛来スルガ初隊ニ対ス

ル協力準備ニ遺憾ナカシムルト共ニ対空警備ヲ嚴ニス

各科業務

総務 一 第五野戦航空修理廠ニ対スル戦力報告ノ作成

修理 一 工場建築及重要建築第一中隊ト共ニ分廠建物ノ取

壊ニ 二 取電之事

補給 一 燃料運搬(五九五号) 二 掩体構築

修理 一 防空設備ノ強化

医務一月別身体検査実施

日々命令

一分隊ハ編成改メ依リ部隊名ヲ定メ通定ハ

左 記

固有部隊名 第一野戦航空隊第一分隊

通 稱 號 台湾第一九〇三部隊司令部

本日現況

職員三五二員五〇。計五四五

入隊四 入室三 休業三 就業三五

情 報

一五二〇部隊比吳一三〇度方何一三〇新ニ不明アリ

二友軍ノ海軍陸軍部隊ハ比島ヨリ奄美大島ニ向ヒツアリ

置ハ台湾ノ北方ニ在リ之ヲ敵ノ追尾攻撃ノ算ナリ

之ヲ為海軍陸軍ハ九州ヨリ攻撃ヲ準備中各飛行場ノ所

在部隊ハ攻撃ヲ最ニスルト共ニ選患協力ニ遺憾ナキ

期セシレ度

月 日

十月二十七日

曜 日

金 曜 日

天 候

曇

位 置

前日ニ今ニ

業務概要

一分隊ハ依然ニ場ノ建設防空防護ニ進進ス

二大刀隊富谷准尉器材運搬ノ為末敵ス

各科業務

総務 一報告書類ノ作製ニ自動車機体ノ構築

修理 一工場ノ建設 一取電ノ工事

補給 一知見集積所ヨリ燃料ノ運搬

修理 一準戦地増備ノ支給

報 告

一航本総務第一〇三號第十一條及第十八條ニ依リ左記書

類大刀隊ハ報告

左 記

一転属者連名簿



二 兵器品目負数表

三 衛生材料 現月数謝書

人員異動

一 転入 陸軍軍曹 山本 基三 (十月十九日付大ノ殿ノ転属)

一 転出 (分隊帰還) 雇員 平田 登志男 陸隊付ノ二 勝田 定信

一 世友ノ井上 久 華 旋盤工 立山 篤夫

三 休務 補給科 千入 上 地 盛市 川 雅之 陸 屋 亨有

川 雅之 富本 富志 経理班 雑工 伊波 甫次

印 経理班 雑工 石形 菊長 等

職負 三六 二負 五二 計 五四六

入 庚 四 入 室 三 休 業 二 就 業 三六

本日現負  
患者

二 兵器品目負数表

三 衛生材料 現月数謝書

人員異動

一 転入 陸軍軍曹 山本 基三 (十月十九日付大ノ殿ノ転属)

一 転出 (分隊帰還) 雇員 平田 登志男 陸隊付ノ二 勝田 定信

一 世友ノ井上 久 華 旋盤工 立山 篤夫

三 休務 補給科 千入 上 地 盛市 川 雅之 陸 屋 亨有

川 雅之 富本 富志 経理班 雑工 伊波 甫次

印 経理班 雑工 石形 菊長 等

職負 三六 二負 五二 計 五四六

入 庚 四 入 室 三 休 業 二 就 業 三六

本日現負  
患者

日 十月二十八日

土曜 日

雨 後 曇

前日ニ合シ

天候

一分隊ハ主力ヲ率ゲテ機動戦隊ハノ協力及工場ノ建築防

業務概要

一 分隊ハ主力ヲ率ゲテ機動戦隊ハノ協力及工場ノ建築防

修繕 一 工場建築作業 (兩為要塞建築第六中隊協力ニ)

二 整備飛行班ヲ以テ機動戦隊ハノ協力

補給 一 燃料運搬及部品器材ノ分散

経理 一 七、八、九月分準戦地増修ノ支給

一 補修完結ニシテ第五野戦機航分隊長ニ宛テ電報ヲ

電入 修理

一 分隊十月二十五日復歸完了同日補修完結貴廠ノ棘下

ニ入ルノ光景ニ浴ス

報 告

一 分隊十月二十五日復歸完了同日補修完結貴廠ノ棘下

ニ入ルノ光景ニ浴ス

人員男勤  
本日現負  
患者

目下ハ再建ニ努力スルト共ニ飛行部隊ノ集中格助ニ  
協力中ニシテ上月中旬ニハ畧々完全ニ戦力ヲ復活スル  
見込

一 休務 補給科 整備工 留山 或次 警備官長ノ多ク  
一 解雇 修理科 予入ニ 伊波 眞一 碩ニ 務リ

職負 三六 二負 五〇 計 五四六  
入 渡 四 入 望 一 休 業 八 就 業 四 八

天 候

晴

業務概要

前日ニ合シ

一 五野修一分作命第一號ニ基ク格助戦隊ノ協力及工場ノ建  
築防空設備ノ活化ニ努ム

二 派遣隊也上少尉業務連格ヲ為帰廠五野修一分作命第一號ニ  
基キ細部指示ス

三 取電設備ニ関シ弁弁耐ラシテ球初隊ニ連絡セシム  
総務 一 事務室ノ整理ニ自動車用格体ノ構築

修理 一 五野修一分作命第一號ニ基ク戦隊ノ協力及工場ノ  
建築

補給 一 古賀曹長業連及燃料多領ノ為ニ張所ニ出張  
修理 一 刑箱古張所及小原派遣隊追給機給ノ支拂

各 科 業 務

本日現負  
患者

職負三五 工負五〇五 計五四〇  
入夜四八呈二 休業五 就業四五

日曜日

十月三十日

天候

月曜日

業務概要

曇時々雨

各科業務

前日二会三

一、五野修一分作命第一號ニ基テ松動部隊協力及工場建築  
防空設備シ迄ハニ努ム

二、第二八獨立整備隊石川伍長以下ニ名業務連絡為末久  
補給一全負ニ。迄ダラハ出運搬

経理一、調辦代金支辨為今帰任准尉那覇古浪  
医務一、海軍城伍長業務連絡為陸軍病院送り夜給水初出

日之命令

一、八拾八係 佐上工 坂田孫男

八拾四係 旋盤工 杉頼數夫

九拾係 築物工 岩崎貞喜

八拾七系	計器工	田中康喜
六拾九系	樺太工	島袋武之
技術雇負ノ命ニ頭書ノ月給ヲ給ス	(十月十日付)	
二四拾五系	筆先	島袋邦子
事務負ノ命ニ頭書ノ月給ヲ給ス	(十月十日付)	
陸軍軍曹	角之倉志雄	
工 負	平江寅男	
川	芦田武夫	
不時看控(キ四五)警備為十月三十日ヨリ一泊二日ノ子也	五那菊有長	
ノ次テ總之島ニ出張ノ命ス		
但ニ往復共軍用控ニ依ル		
人負異動	修理科	手入工
川	鍛工	比嘉吉雄
		大城久孝

本日現負	警備召集ノタメ
患者	職負三五工負五〇五
	計 五四
	入陸四 入軍ニ休業七 就業四七

月 日

十月三十一日

曜

火曜日

天候

曇時々小雨

業務概要

前日=公三

位

一 五野修一分作命第一號ニ基テ起動部隊へ協力及工場建築

乃迄設備シ終化ニ邁進ス

二 那覇市渡所ヲ補修シ耐漏廠舗改修ニ於ケル補給業

務并令セラナス

職負三五 工負五〇五 計 五四〇

入度四 入室二 休業七 就業四九

月 計

一十月分兵器修理實施状況別紙ヲ通

本日現員

患者

下達作戰命令

那	同	同	同	同	同	同	同
廠							
作							
命							
一四	一五	一六	一七	一八	一九	一	一
十月十四日	十月十五日	十月十六日	十月十七日	十月十八日	十月十九日	十月二十日	十月二十一日

下道中隊命令

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日

陸軍

那廠作命第一四號

那霸分廠命令

十月十五日

- 一 飛行第九八戰隊(キ約三〇)ハ本夜宮古島東南方海面敵機動部隊ヲ求メテ攻撃ス
  - 二 分廠ハ一部ヲ以テ之ガ戰團ニ協力セントス
  - 三 藤岡大尉ハ戰隊地區部隊海軍ト連絡ニ任ズベシ
  - 四 西谷少尉ハ部下四〇名ヲ以テ之等整備補給ニ協力スベシ 右協力ノ為ニ總管區並航空地區部隊ト密ニ協力スベシ
  - 五 予ハ飛行場本部ニ在リ
- 分廠長 近藤中佐
- 下達者 南原者ニ口達後印刷配布

報告通報光 大刀敵 管區十九航地區 五三飛大 三飛中  
三独懲

那敵作命第一五號

陸軍

那霸分廠命令

十月十四日  
飛行場本部

一 皇國ノ運命ヲ決スベキ一大航空決戦ハ本日台灣沖ニテ  
企圖セラレ沖繩北飛行場ニ陸海軍精銳機百數十機  
来ニ直ニ撃滅ニ進攻ス  
二 分廠ハ関係各隊ト密ニ連繫シ主力ヲ以テ之ク整備並ニ  
地上勤務ニ協力セントス  
三 藤岡大尉ハ関係各隊トノ連繫ニ任スベシ  
四 西谷少尉ハ整備班飛行班ノ全力ヲ以テ飛来各機ノ  
修理整備補給等ニ任スルト共ニ余力ヲ以テ飛行場整  
備彈薬補修ニ任スベシ右ノ為飛行場大隊長ニ区々要スベシ  
五 爾余ノ各班ハ一部ヲ以テ右ニ協力スルト共ニ分廠ノ再建ニ力  
全ヲ期シ十七日迄ニ全力發揮シ得ル如ク実施スベシ

分廠長

近藤 中佐

下達云

可原行ニテ完結ナリ

ニシ



「五三」 庚辰者ニ口達後印刷版在  
報告通報先 大ノ敵 十九航空地区 56 26 30 3 28 整

那廠作命第一六號

那爾分廠命令

十月十五日 本一

一航母七、戦艦七ヲ主体トスル新機動部隊ヲ編成シ、  
五百料ニお規シ又台湾東南沖ニモ殘存空母ニヲ主体ト  
スルモノ存在シアリ、

別ニ有カナル飛行部隊支那大陸方面ヨリ南西諸島  
ニ向フノ情報アリ、

皇國ハ依然航空決戦ヲ續行セシレ北飛行場ニハ海陸  
機隨時發大ス

二分廠ハ引續キ航空決戦ニ協力セントス

三修理科(飛行機整備)ハ分廠再建ニ粉骨スルト共ニ  
常時有力ナル人員器材ヲ飛行場ニ待機セリ又隨時

陸軍

飛來スル飛行部隊ノ戦斗ニ協カスベシ

四其ノ他ノ各班ハ分廠再建ニ努力スルト共ニ對空防護  
ヲ強化シ一部ヲ以テ前項戦斗ニ協カスベシ

五予ハ飛行場本部ニ在リ

分廠長 近藤中佐

下達法

関係者ニ口達後印刷配布

報告通報先

大ノ敵 沖艦管区 十九航司 56 26

30 3 28 整

那廠作命第一七號

那霸分廠命令

十月十六日

一、分廠ハ本十六日ヲ以テ那廠作命第十二號ニヨリ中央航空路部ヲ總管区ノ業務救助ヲ取止ム

二、修理科長ハ本十六日ヲ以テ該救助ノ負ヲ引上ケル

ト共ニ眞玉橋 金城ニ員及自動車整備手一ヲ連絡者トシテ中央航空路部ヲ總管区ニ差出シ必

要ニ應ジ整備ヲ援助スベシ

那霸分廠長 近藤中佐

下達法 一、関係者ニ口達後印刷配布

報告通報之 大刀廠 中總管区

那廠作命第一八號

那霸分廠命令

十月十九日

一、分廠ハ本機空第一。三號第五野戰航空修理廠第五野戰航空補給廠臨時編成第三。二次復帰ニ関スル規定

ニヨリ第五野戰航空修理廠ノ編成ニ伴ヒ第五野戰航空修理廠長ノ隷下ニ入ラシメラル

二、第五野戰航空修理廠ノ臨時編成完結時(十月二十五日)トス

三、第五野戰航空修理廠ハ前項規定ニ基キ夫々現在地ニ於テ第五野戰航空修理廠長ノ隷下ニ入ルベシ

四、第五野戰航空修理廠ノ臨時編成完結時(十月二十五日)トス

分廠長 近藤中佐

下達法 印刷配布  
報告通報之 大刀廠 第五野戰航空修理廠 必必必獨立整備隊

那威作命第一九號

那霸分隊命令

十月二十七日

一 皇國ハ今后約一週間ニ亘リ捷一號方面ニ航空戦力(部隊及補給等)ノ集中ヲ企圖セラル

二 分隊ハ與保各隊ト密ニ連撃シ沖繩北飛行場ニ飛来スル航空戦力(部隊及補給機等)ノ進退ニ積極的ニ協力セドス

三 西谷少尉ハ飛行班整備班ノ有力ナル人員器材ヲ以テ之等部隊ノ整備補給ニ協力スベシ

之カ為沖繩管区並航空地区部隊ト密ニ協力スベシ

分隊長 近藤 中佐

下達者 口達後印刷配布

報告通報先 大分隊 19航空地区ニ他陸軍沖繩管区

陸軍

五野航修隊二分作命第一號

第一分隊命令

十月二十七日

一 レイテ島附近ニ於テ敵米撃滅、次戦ハ司續

テ行ハレ掃々タル戦果ヲ擧ゲツテアリテ今ソ一機

一彈、補給ノ迅速ガ勝利ノ最大ノ鍵トナル絶對

ノ時機ナリ

一分隊ハ主カヲ擧ゲテ機動部隊(飛行機)ノ整備修理ニ協力セントス

三 西谷少尉及池上少尉ハ各種繩北及ハ稼飛行場

ニ於テ整備飛行機班、有カナル者ヲ以テ直接

協力隊ヲ編成シ陸海ヲ問ハズ有ル補給機殘

置機、修理整備ニ最大ノ努力ヲ傾注スベシ

四 山田少尉ハ右ト密ニ連絡部品材料補給ノ敏石

ニ萬全ヲ期スベシ

五予ハ北飛行場ニ在リテ直接指揮ス  
分 敵 長 近 敵 中 佐  
下違法 肉係者ニ口達後印刷配布  
報告及通報先 五修 八師 元秋地區 三独整 台飛大  
三飛中 敵部隊

昭和十九年十月十日

讀谷山飛行場戰鬥詳報第一號

大分洗陸軍航空廠那霸分廠



目次

一 戰鬥前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

二 戰鬥ニ影響ヲ及ビタル氣象地形及住民地ノ狀態

三 彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ編制裝備素質戰法等

四 各時期ニ於ケル戰鬥經過關係部隊ノ動作及連絡施

設ノ狀態

五 戰鬥後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

附表

第一 死傷表

第二 兵器損耗表

第三 燃料損耗表

第四 醫務關係損耗品

第五 經理關係損耗品

略ス

附圖  
第一、爆彈輝痕圖

一 戰鬥前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

十月七日一五。十月七日二三。北連港東方海上ノ敵有  
カナル機動部隊北進中ナリトノ情報ニ接シタル分散直  
ニ業務ヲ停止シ主トシテ飛行機燃料ノ分散各防火地区  
ノ防火諸施設ノ整備ニ努メ爾后情勢ノ緊迫ニ即座  
ベク工場ノ分散計畫地ニ部品器材ノ分散ニ鋭意努力  
中ナリキ。十月七日以後、機動部隊ノ状況爾後全ク  
不明ナリキ

二 戰鬥ニ影響ヲ及ビタル氣象地形及住民地ノ状態

十月九日 東北風稍強ク雲量多ク視程悪シ  
十月十日 早朝ヨリ雲量小風ナク視程良好ナリ

三 彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ編制裝備素質戦法等  
讀谷山飛行場地区ニ來襲セル敵機ハ艦載機小中型  
機必約二五。機ニシテ主トシテ鋭爆撃トシテ爆彈

使用)ヲ實施シ家屋ニ對シテハ燒夷彈攻撃ヲ併用シ  
徹底的破壊(炎上)ヲ企圖セルモノ、如シ敵、素質ハ優  
不良好(四機中一機)ニシテ銃爆撃精度モ概不正確ナル  
外攻撃執拗徹底的ナリ特ニ大破倒壊セル建物ヲ及復  
攻撃炎上セシメタル執拗サハ奇異ナリ  
四各時期ニ於ケル戰鬥經過關係部隊ノ動作及連絡施  
設ノ状態

十月十日平日ノ通り敵負從業員登廠日朝兵中ニ  
集合セントスルヤ東北方向ニ急激ナル銃撃ヲ聞クト  
同時ニ海軍地区ニ黒煙ノ高揚スルヲ認め初メテ敵機  
ノ來襲ヲ知り全負ヲ直チニ防空壕ニ待避セシム  
時ニ三〇六五〇分ニシテ視野内ニ認めタル敵機ハコソマン  
戦斗機約二十機ナリ  
第一次攻撃(三〇六五〇分)ニヨリ精密器材庫ヲ破壊

器材庫ハ大破倒壊シ各工場ハ爆風ニヨリ損傷程度ニレ  
テ比較的損害輕微ナリキ  
第一次攻撃終了スルヤ命令受領者ヲ集メ重要書  
類部品器材器具ノ概七女子三員ヲ待避死傷者ノ救護ヲ  
命シ又一部ヲ以テ精密器材庫(倒壊セルモノ)ノ火災ヲ  
消火セシメタリ。爾後第三次(三〇一〇三〇)第四次(三〇  
三〇一〇三〇)第四次(三三〇〇一四〇)第五次(三四二〇一五  
四)ト及復た襲撃ヲ受ケ中間建物ノ大部ハ炎上セリ  
特ニ午後ヨリハ中型機ニヨリ大型爆彈(100kg)ノ投下  
燒夷彈攻撃ヲ併用シ敵ノ徹底的破壊炎上ヲ企圖シ  
遂ニ分廠ノ大部分ハ大破(炎上)スルニ至レリ。茲ニ奇異ニ  
感スルハ防火用水槽(中込五米深サ三米コンクリート製)ヲ  
明カニ目標トシテ投擲セル形跡アルコトナリ。午後モ終

爆周一部ヲ以テ消火等ニ努メタルモ及バズ儘カニ本邦建物  
 ノ炎上ヲ防止シ得タルノミナリ。一六三〇分廠長職負ヲ三  
 角兵舎附近ニ集合セシメ爾後ノ行動ニ就キ左ノ如ク指示  
 ス  
 一 分廠機能ノ早急ナル恢復  
 二 死傷者ノ收容  
 三 兵器器具、材料、部品、糧秣等ノ撤去並ニ分散  
 四 防空壕ノ強化  
 五 襲撃ト同時ニ通信綫斷線ニ附近部隊ト、連絡ハ確保  
 シ得サリキ。  
 耶爾七張所立ニ小隊派遣隊ノ損害ハ輕微ナリ。六張ニ依  
 ル損害狀況附表ノ如シ(畧ス)  
 爆彈彈痕圖附圖第一ノ如シ

五 戦斗後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

十日夜ハ至嚴ナル燈火管制下徹宵シ六張ノ跡整理  
 ヲ行ヒ全力ヲ盡クシテ分廠再建ニ銳意精進スルト共  
 ニ一部ヲ以テ飛行場彈痕補修ヲ援助セリ  
 六張歸還失其ノ他將來ノ参考トナルヘキ事項  
 一 作戰地所在部隊ハ勉メテ作戰實施ニ適スル指揮  
 系統ニ在ラシメ所在地最高指揮官ニ何等カノ繫リ  
 ヲ有セシムルヲ要ス  
 二 分廠ハ此ノ真全ク南西諸島ニ孤立シアリテ防衛運輸  
 給養勞力ノ取得等甚ク困難ニシテ作戰準備ニ粗  
 略ヲ生ゼリ  
 三 警報緊急情報等ハ所在地高級指揮官ヨリ確實ニ  
 所在部隊ニ傳達スルヲ要ス。前條ノ内容上分廠全



ク情報ヲ得ルヲ得ズ儘カニ冲繩官區ヨリ七日ヲ於ケル機動部隊ノ情報ヲ得タルノミニシテ爾後全ク状況不明球部隊ハ其ノ後派號戰備ヲ下令シテハ飛行師團ノ第一號戰備ヲ下令セル模様ナルモ分敵ハ之等ノ命令情報ヲ得ズ不覺ヲ取ルニ至レリ  
又九州ニ於テハ前日飛行機回避セリトモ南クモ冲繩ヘ之ヲ知ラズ  
3. 飛行場及其ノ周辺ノ地上建物ハ全然價值ナシ特ニ軍用ノ特異型式ノ建物ハ敵ノ目標トナリ易ク必ズ地下ニ入レルカ或ハ地方部落ト類似ノ様式トナシ分散ニ徹底スルヲ要ス  
4. 航空修理廠係機関ハ必ズシモ飛行場ニ近接スルヲ要セス  
離隔構築スルヲ可トス

1. 分敵ノ編成ハ軍人編成ナルヲ要ス軍屬ハ空爆下ニ於テハ半裸ヲ履シ易シ  
2. 分散遮蔽ハ徹底的ナルヲ要ス  
3. 部品器材類ニ於テハ濕氣蒸氣發錆等保管ノ心配ヲ多アルモ右ニ依ル損害ハ輕少ニシテ空爆ニ依ル損害ハ大ナリ  
小ヲ殺シテ大ヲ生カスヲ要ス(小ニ扱ハレ易シ)  
4. 訓練ノ重要性  
5. 退避部隊撤去等ノ訓練ハ及復實施スルヲ要ス  
6. 心手期セズシテナシ得ル所必ズ成ルト信ス  
7. 指揮官ノ適切ナル指示ノ要  
8. 指揮官負傷セルモ、或ハ其ノ掌握指示不適切ノモ  
9. ハ混雜ヲ極メ部下ノ反逆無統制トナル  
10. 潜伏攻撃ノ間隙ノ利用ハ價值アリ